

生産中止品



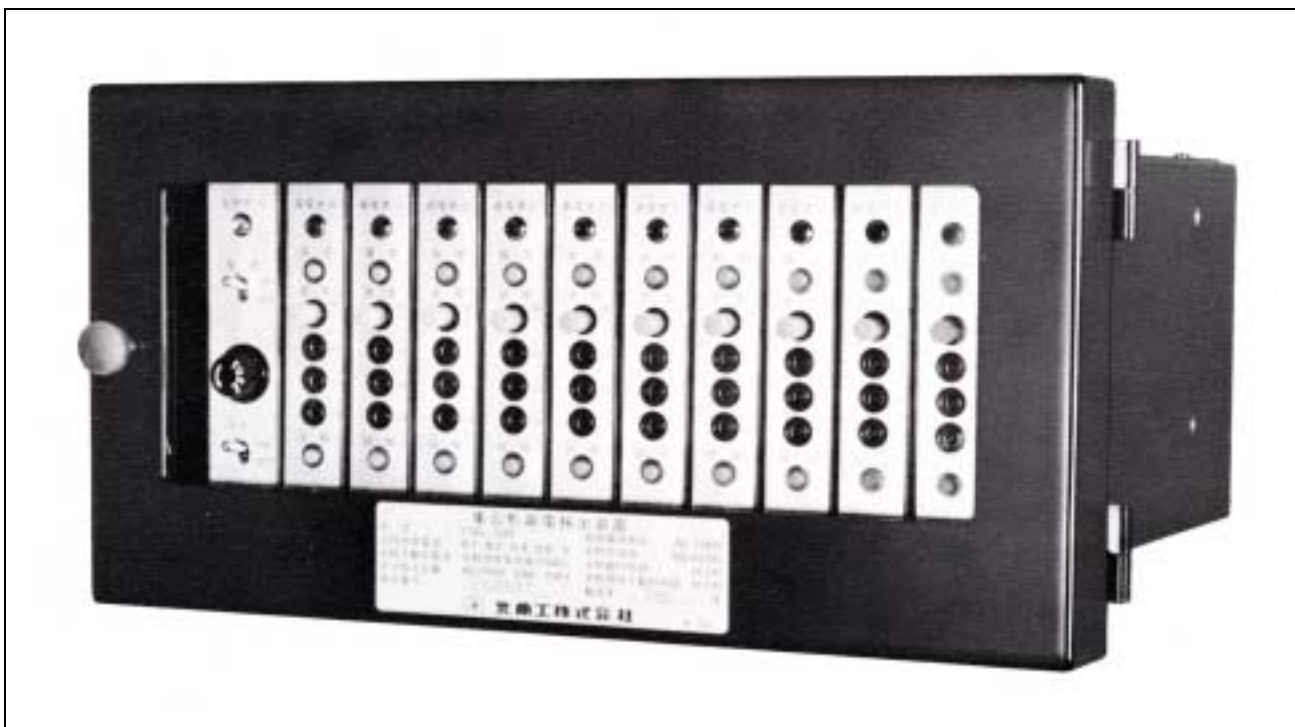
# LSG-10T 形 集合地絡継電器

作成日

2003/06/20

資料 HP533

本資料記載内容は、全て販売当時のものです。(U-2Sを除く)



## JIS C 8374 規格品

### 定 格

1. 形式	LSG - 10T
2. 漏電検出回路数	1 ~ 10
3. 電源ユニット	(プラグイン式)
形式	U-1
定格電圧	AC 100V
変動範囲	80V ~ 110V
定格周波数	50Hz, 60Hz, 共用
4. 検出ユニット	(プラグイン式)
形式	U-2
動作電流整定値	0.1, 0.2, 0.4, 0.8A
不動作電流値	4点ピンジャック式 上記整定値の50%
動作時間	0.3秒
復帰方式	手動復帰
外部引出接点	各1C AC 250V 抵抗負荷 10A
5. スペース・ユニット	(プラグイン式)
形式	U-3

6. 消費電力	不動作時 100V, 0.1A 以下 動作時 100V, 0.4A 以下
7. 警 報	ブザー内蔵, ブザー停止スイッチ 共通警報接点, 250V, 10A
8. 耐電圧	制御回路充電部と外箱間および制御回路 充電部相互間, AC1500V, 1分間 開極接点間 AC1000V, 1分間
9. 過地絡電流	600A 連続に耐える
10. 塗装色	マンセル記号 N1.5
11. 重 量	6.8Kg

検出ユニット U-2 の保守品として、U-2S をご用意しております。  
尚、保守品以外の特殊仕様品として U-2S もありますので、ご注意ください。

## 特 長

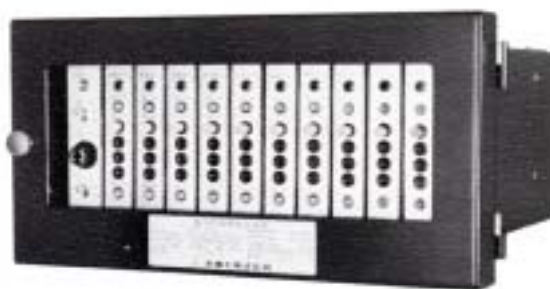
1. 10 回路分がひとつのケースに収められたプラグイン方式ですから、回路数の増減が自由です。
2. セレクタ方式ではないので、多数回路で同時事故があっても、正しく動作します。
3. 各ユニットは独立していますから、個々に感度などを自由に設定できます。
4. 電源ユニット 検出ユニット、いづれもプラグイン方式ですから、いつでも安全に取出して調整や調査をすることができます。
5. 各検出ユニットに試験用押ボタンがあり、個別に機能点検ができます。
6. 各検出ユニットは ZCT (M30, SM41 ~ SM240) と互換性があり差し替えても正常に動作させることができます。
7. 電源ユニット入力には電源回路の保護用にサージアブソーバーを使用しています。

## 取り付け、配線および試験

1. 零相変流器は各分岐回路に設置し、2 次端子 k.l と本器の各端子との番号を合わせて接続してください。
2. 電源端子には AC 100V を P1 - P2 に供給してください。
3. 誤接続のないことを確認の上、電源スイッチを投入してください。電源表示灯が点灯します。
4. 電源を投入したら、試験ボタンを押してください。  
各回路の事故表示灯が点灯して、ブザーが鳴ります。  
復帰ボタンを押せば、動作は元の状態に戻ります。
5. 設置完了後の模擬試験は各分岐回路から電球などを通し、電流を制限して、接地してください。事故回路ができて、本器はその回路だけ動作します。



検出ユニット(U-2)



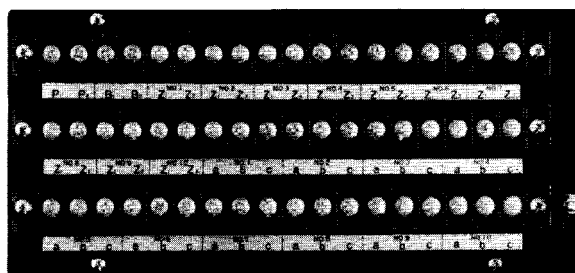
LSG-10T



ユニットの抜き方



電源ユニット (U-1)



後面端子配列

## 構造

本装置のケースは鉄板製で、埋込になっています。前蓋を開けると分岐回路と同数のユニットと1つの電源ユニットが差し込まれます。電源ユニットの表面には電源スイッチ、電源表示灯、ブザースイッチ、ヒューズ等が取り付けられ検出ユニットには、感度切替ピン、試験ボタン、漏電表示灯、復帰ボタンが取り付けられています。

又、本体にはブザー等が内蔵されています。検出ユニットと零相変流器が1回路に1台ずつ組み合わせられて、本装置は構成されます。零相変流器は、当社製品の内径30 から240迄、各種組み合わせ可能です。

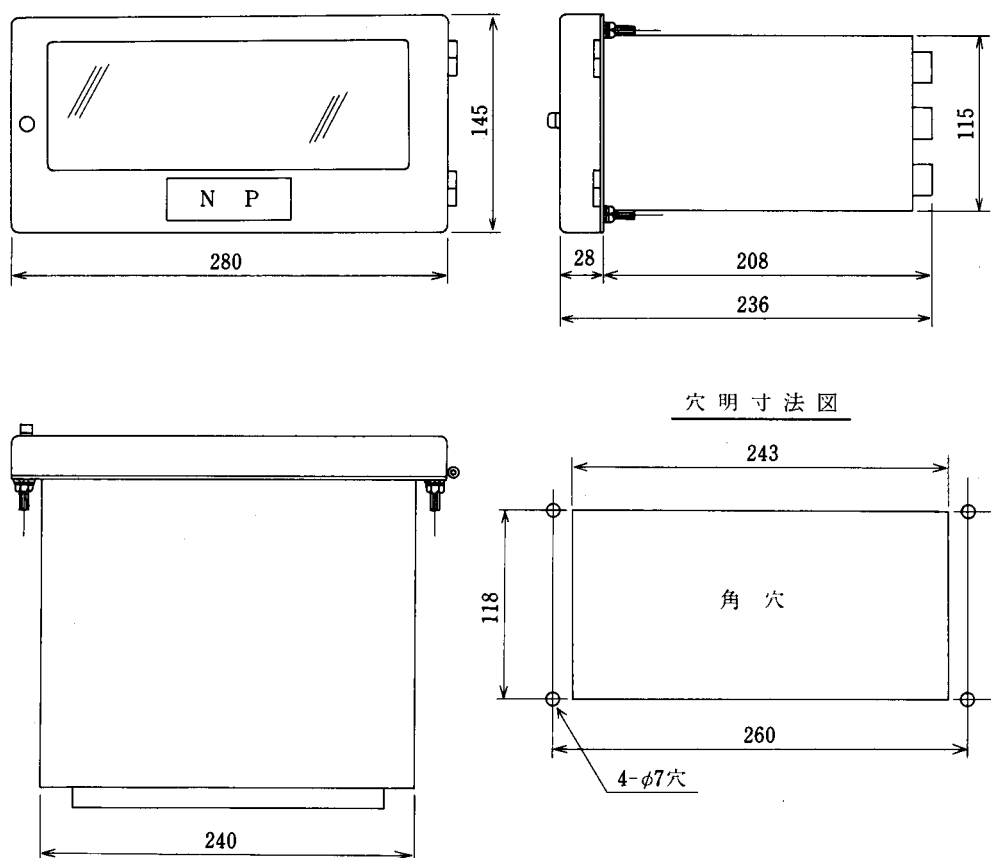
## 動作

零相変流器を設置した警戒電路で、地絡事故が生じると、零相変流器の2次端子に起電力が発生します。この2次出力はユニットで増巾され、ミニチュアリレーを動作させます。リレーの接点は事故表示に使用します。動作後は自己保持式なので、復帰ボタンを押すまで事故表示を続けます。

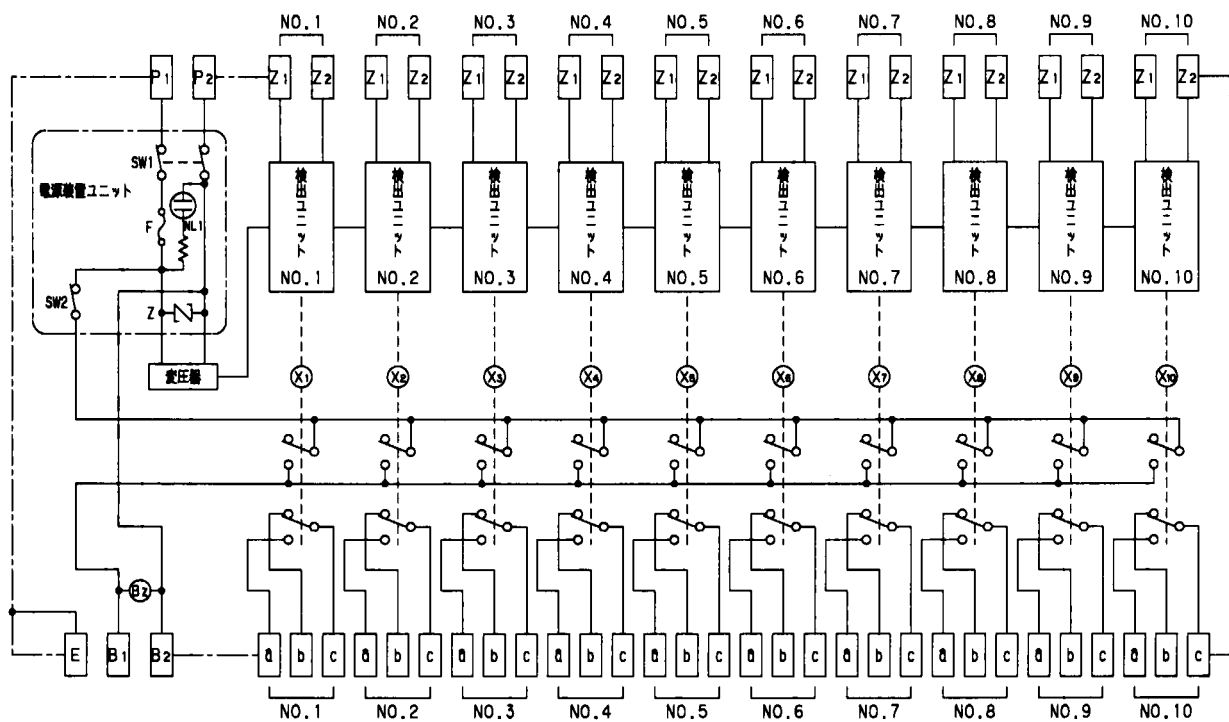
## 保守

- 1) 事故警報があれば、分岐回路に地絡事故が発生したのですから、回路の確認を行ってから、しゃ断してください。
- 2) 長時間回路をしゃ断できない場合は、ブザースイッチを切っておいてください。
- 3) 事故回路しゃ断もしくは修理が完了しましたら、復帰ボタンを押して、正常にもどしてください。その時、ブザースイッチも必ずONに入れてください。
- 4) 復帰ボタンを押して、正常にもどした時、警報が出る場合は新たな事故が発生したのですから、再度調査してください。
- 5) 事故の如何にかかわらず、試験ボタンを定期的に押して、本装置の動作に支障のないことを確認してください。

LSG-10T 外形図



LSG-10T 内部接続図



検出ユニット 内部接続図

